



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 雄一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員コーポレートビジネスユニット長 (氏名) 柳沢 貴志 TEL 03-5405-8120
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,101	—	48	—	47	—	22	—
2018年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 22百万円（—%） 2018年9月期第2四半期 一百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	4.62	4.48
2018年9月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2018年9月期第3四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年9月期第2四半期連結累計期間の数値及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	2,284	1,020	44.7
2018年9月期	1,671	995	59.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 1,021百万円 2018年9月期 995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,202	127.6	60	25.4	52	19.4	138	131.9	27.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）ビクタス株式会社、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	4,963,600株	2018年9月期	4,951,600株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	143株	2018年9月期	48株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	4,959,836株	2018年9月期2Q	4,843,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年5月23日（木）に機関投資家向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、四半期決算発表と同時にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（日付の表示方法の変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の移動)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国発の貿易摩擦、中国をはじめとしたアジア諸国の経済動向、今後の消費税率引上げ等により、依然として先行き不透明な状態は継続しております。

当社グループがクラウドソリューション事業及びシステムエンジニアリング事業を展開する情報サービス市場は、「働き方改革」への機運の高まりから、企業の情報システム需要が継続的に高まっており、特に働き方改革関連法案の施行に伴い、中堅・中小企業における生産性向上と業務効率化へ直結するクラウドサービス需要が引き続き拡大しております。

また、日本企業のIT人材不足は、ますます深刻化していく中、クラウド、ビッグデータ、IoTのほか、人工知能やロボット、RPA、そして情報セキュリティなど、先端IT技術に携わる人材のニーズがより一層高まっております。

このような状況下で、当社グループは「脳力をフル活用できる世界へ」を新たに企業ビジョンに掲げ、中堅・中小企業の働き方を変革するSFA/CRMクラウドサービス「KnowledgeSuite（ナレッジスイート）」の他、各種クラウドサービスと連携が容易となる認証管理サービス「ROBOT ID（ロボットアイディー）」、及び画面操作だけでデータベース型業務アプリケーションが簡単に作成できるビジネスアプリケーションプラットフォーム「Shelter（シェルター）」、さらにSaaS型自社ドメイン求人ページ制作CMSサービス「ラクリエ求人」を新たに提供開始するなど、中堅・中小企業の働き方改革を支援してまいりました。また、成長加速を早期に実現するための投資として、関西及び九州に営業所を設立するなど全国販売拡大へ向けた営業体制強化を推進してまいりました。

さらに、当社が長年培ってきたクラウドインテグレーションノウハウをベースにした先端IT技術者の育成と研究開発基盤の強化を図るため、人工知能、ビッグデータ、情報セキュリティ、IoT等の先端IT人材の創出と市場ニーズに即した開発スピードの強化を推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,101,739千円、営業利益は48,617千円、経常利益は47,010千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,922千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、ビクタス株式会社については、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

①クラウドソリューション事業

当第2四半期連結累計期間における各サービス別の業績は、以下のとおりであります。

(クラウドサービス)

当サービスにつきましては、全国に広げた販売パートナーによる拡販施策に加え、月間約800社の全国からのお問い合わせに対し、首都圏のみならず関西、九州エリアへの積極的な営業活動を展開したことで、新規契約社数の増加が順調に推移し、当第2四半期連結累計期間における売上高は297,869千円となりました。

(ソリューションサービス)

当サービスにつきましては、「KnowledgeSuite(ナレッジスイート)」の導入支援コンサルティングサービス、及びクラウドインテグレーションの受注が順調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は149,745千円となりました。

これらの結果、クラウドソリューション事業の売上高は447,614千円、セグメント利益は159,906千円となりました。

②システムエンジニアリング事業

当第2四半期連結累計期間においては、子会社化したビクタス株式会社のシステムエンジニアリングサービスにおきまして、既存取引先との取引深耕が奏功し、順調に推移しました。

これらの結果、システムエンジニアリング事業の売上高は655,464千円、セグメント利益は90,818千円となりました。

(注) 前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は1,456,366千円となり、前連結会計年度末に比べ338,877千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加201,146千円、売掛金の増加146,046千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は827,807千円となり、前連結会計年度末に比べ273,525千円増加しました。これは主に、のれんの増加210,925千円、投資有価証券の増加45,900千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,284,173千円となり、前連結会計年度末に比べ612,403千円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は478,534千円となり、前連結会計年度末に比べ290,835千円増加しました。これは主に、買掛金の増加101,736千円、1年内返済予定の長期借入金の増加118,392千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は784,749千円となり、前連結会計年度末に比べ295,850千円増加しました。これは主に、長期借入金の増加299,712千円、長期リース債務の減少3,599千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,263,284千円となり、前連結会計年度末に比べ586,685千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,020,888千円となり、前連結会計年度末に比べ25,717千円増加しました。これは主に、資本金の増加1,650千円、資本剰余金の増加1,650千円、利益剰余金の増加22,922千円であります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ14.8ポイント減少し、44.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月13日付「平成30年9月期 決算短信」において公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	935,707	1,136,853
受取手形	—	1,490
売掛金	139,655	285,702
仕掛品	610	1,262
前払費用	25,922	23,056
その他	16,180	15,809
貸倒引当金	△588	△7,808
流動資産合計	1,117,488	1,456,366
固定資産		
有形固定資産	104,105	96,369
無形固定資産		
のれん	238,996	449,922
ソフトウェア	83,017	100,463
その他	31,368	33,590
無形固定資産合計	353,383	583,976
投資その他の資産	96,792	147,461
固定資産合計	554,281	827,807
資産合計	1,671,770	2,284,173

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,008	118,744
1年内返済予定の長期借入金	68,200	186,592
リース債務	8,264	8,107
未払金	25,018	30,782
未払費用	13,794	15,435
未払法人税等	9,375	37,158
前受金	15,997	17,736
賞与引当金	19,165	29,675
その他	10,874	34,302
流動負債合計	187,699	478,534
固定負債		
長期借入金	431,250	730,962
リース債務	33,909	30,310
資産除去債務	23,456	23,477
その他	283	—
固定負債合計	488,899	784,749
負債合計	676,598	1,263,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	650,944	652,594
資本剰余金	641,044	642,694
利益剰余金	△296,731	△273,808
自己株式	△85	△192
株主資本合計	995,171	1,021,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△398
その他の包括利益累計額合計	—	△398
純資産合計	995,171	1,020,888
負債純資産合計	1,671,770	2,284,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,101,739
売上原価	683,563
売上総利益	418,175
販売費及び一般管理費	369,558
営業利益	48,617
営業外収益	
助成金収入	4,545
その他	686
営業外収益合計	5,231
営業外費用	
支払利息	4,631
為替差損	341
リース解約損	1,752
その他	112
営業外費用合計	6,838
経常利益	47,010
税金等調整前四半期純利益	47,010
法人税、住民税及び事業税	28,819
法人税等調整額	△4,732
法人税等合計	24,087
四半期純利益	22,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	22,922
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△398
その他の包括利益合計	△398
四半期包括利益	22,524
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	22,524

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	47,010
減価償却費	31,855
のれん償却額	28,635
貸倒引当金の増減額(△は減少)	36
受取利息	△50
支払利息	4,631
為替差損益(△は益)	341
リース解約損	1,752
売上債権の増減額(△は増加)	△8,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,348
仕入債務の増減額(△は減少)	△299
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,626
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,623
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△283
助成金収入	△4,545
その他	△8,052
小計	121,301
利息の受取額	50
利息の支払額	△5,179
役員退職慰労金の支払額	△130,000
助成金の受取額	4,545
法人税等の支払額	△5,116
その他	80
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△220
投資有価証券の取得による支出	△46,298
無形固定資産の取得による支出	△35,726
資産除去債務の履行による支出	△4,929
定期預金の払戻による収入	16,333
保険積立金の解約による収入	230,458
敷金及び保証金の差入による支出	△300
敷金及び保証金の回収による収入	4,748
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△187,877
貸付金の回収による収入	6,600
その他	3,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△264,049
リース債務の返済による支出	△9,878
株式の発行による収入	3,300
自己株式の取得による支出	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	201,146
現金及び現金同等物の期首残高	935,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,136,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社は、第1四半期連結会計期間にビクタス株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2.
	クラウドソリューション事業	システムエンジニアリング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	446,275	655,464	1,101,739	—	1,101,739
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,339	—	1,339	△1,339	—
計	447,614	655,464	1,103,078	△1,339	1,101,739
セグメント利益	159,906	90,818	250,724	△202,107	48,617

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,339千円、各報告セグメントに配分していない全社費用193,989千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首より、「システムエンジニアリング事業」において、ビクタス株式会社を連結の範囲に含めております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システムエンジニアリング事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にビクタス株式会社の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間においては239,560千円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。